

## Living and Society

### Volunteer Activities

Yoshio Kashida · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 前期 木 5・6

(平成 19 年度以前の授業科目: 『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

**Target)** Think volunteer

**Outline)** 具体的には、ボランティアの組織運営に関する問題や、地方政府との関係などが検討されることになる。なお、授業の内容理解の促進を期すために毎週コメントシートを書いてもらう。出席票を兼ねているので、出し忘れないようにして欲しい。

**Keyword)** education, Tokushima

**Relational Lecture)** “Living and Society/Volunteer and society”(0.5)

**Goal)** 21 世紀において、なぜボランティアや NPO(非営利組織) について考えることが重要なことなのか、理解する。ボランティア・NPO の領域と、市場や政府の領域がどのように関係しているのか理解する。ボランティア教育のあるべき形について自分の意見をもてるようになる。

**Schedule)**

1. 初回はオリエンテーションを兼ねたボランティア論(必ず出席せよ)
2. 国際協力ボランティアの NICE からゲストを迎えてお話=マレーシアでのボランティア=を聞く(松重氏)
3. ボランティア依存症について
4. 1) 「ボランティアを社会科学的に考える意義」
5. 2) 「ボランティア活動と現代社会」
6. 3) 「ボランティア活動とサービスラーニング」
7. 4) 「ボランティア・コーディネーター」と「社会福祉協議会」
8. 5) 「徳島のボランティア」の現在・過去・未来
9. 6) ボランティアと日本社会
10. 7) 「労働の変容」とボランティア (IRC 字幕入力ボランティア)
11. 8) 「認知症とボランティア」(田野道子氏)
12. 9) 「ふたたび国際協力ボランティアの NICE から (大阪支部の石黒さん=予定=)」
13. 10) 『傾聴ボランティア』の理論と実際(前半)
14. 11) 『傾聴ボランティア』の理論と実際(後半)
15. 12) 総括討論(テスト返却と解説)
16. 13) 「労働の変容」とボランティア (IRC 字幕入力ボランティアの実習) 補講

として。

**Textbook)**

- ◇ 教科書 なし。
- ◇ 参考書 巡静一&早瀬昇『基礎から学ぶ ボランティアの理論と実際』中央法規出版 1997, 2400 円。
- ◇ 内海成治ほか編『ボランティア学を学ぶ人のために』世界思想社 1999, 2, 200 円。
- ◇ 立木茂雄編著『ボランティアと市民社会』晃洋書房, 1997, 1900 円。

**Reference)** 古瀬敏『ユニバーサルデザインへの挑戦』ネオ書房, 2100 円。日経デザイン編『ユニバーサルデザインの教科書』日経 BP 社, 2800 円。黒須正明編『ユーザビリティテスト』共立出版, 3300 円。C&C 振興財団編, アクセシビリティ研究会著『情報アクセシビリティとユニバーサルデザイン』株式会社アスキー, 2800 円。

**Evaluation Criteria)** 授業への取り組み状況, 日常の態度, テストの成績を合算して評価する。

**Re-evaluation)** 無

**Message)** 医療ボランティア等の実例を用いながら, 学生参加型の講義を行う。出欠確認は毎回行う。とりわけ, 初回のオリエンテーションは重要なので, 欠席しないようにせよ。欠席者には理由を問う。なお, 本講義の前半 7 回は, 大学開放実践センター 5 名への公開授業ともなっている。7 月 14 日は担当者海外出張で休講の予定。補講は, 8 月 4 日 14:35~ 16:05。このコマに正規の授業がある場合は, 事前確認の上レポート等で対応するので, 申し出よ。

**Webpage)** <http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/social/>

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220767>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ Kashida (SVBL3F\_1, +81-88-656-9512, HCB00537@nifty.ne.jp) MAIL (Office Hour: 火曜日 14:00~ 15:00at 工学部キャンパス内 SVBL 棟 3 階・プロジェクト研究室 1)